

公民連携と自治参画 最新の取り組み状況

加西市は、市民参画と公民連携によってサービスの質向上と業務の効率化に取り組み、行財政改革の成果を上げています。本年度から特に公民連携と自治参画を強力に推進するために、当該分野の専門知識に長けた社会経験豊富な即戦力となる任期付職員（最長5年間）を採用しました。それぞれ担当主幹（課長クラス）として、新たな施策や事業を展開するとともに、他の職員の資質向上と意識改革にもつなげています。最近の主な取り組みについて報告します。

公民連携

問合せ／経営戦略室 ☎ 8700

■地方自治体公民連携研究会／11月23日／加西市役所

加西市は、地方自治体公民連携研究会（塩川正十郎会長）の研究対象モデル自治体に選ばれました。研究会の一行が来市した他、昨年加西市を訪れたオリバー・ポーター氏も再度来日して出席。行政の各分野でPPP（公民連携）を活用するため、市議会と情報共有を図りました。同研究会からの中間的な調査報告がなされ、加西の慣習、PPPへの理解度、市民感情等について相互に情報交換しました。

■加西市の事業仕分け発表「J.Iフォーラム」

／11月26日／日本財団

「構想日本」の加藤秀樹代表の呼びかけで全国から事業仕分けを実施した先駆者首長ら12人が集まり、仕分け実績や効果、これからの国の方向性などを語りました。フォーラムには中川市長も参加。先月、国の事業仕分けが開催されましたが、加西市では昨年も、兵庫県内で初めて開催し30事業について仕分け作業を行い、今夏も開催したところです。

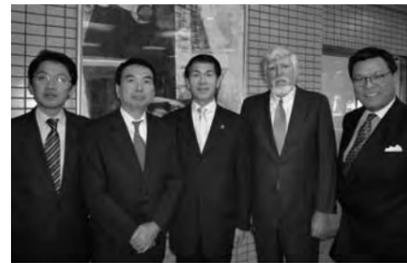
なお、この度国で行われた事業仕分けの項目の内、地方に関する51項目について、加西市でも部長以上の職員で仕分け作業を行ったところ、そのかなりの事業は地方でも出来ると判断されました。

■バイオ燃料の産学官共同実験／12月2日／神戸大学

加西市、神戸大学（近藤研究室）、㈱千石の三者は共同して、家庭用ストーブやファンヒーターの燃料としてバイオ燃料を活用するための燃焼実験を行うことで合意しました。市では、2年前から廃食用油からバイオディーゼル燃料（BDF）の製造をスタートさせ、月産7,000ℓの燃料が生産されていますが、用途拡大が課題となっており、実験によって安全性などが確認できれば、小中学校など公共施設の暖房にBDFを使う予定。従来の灯油に代えて、バイオ燃料利用の道が開かれれば、CO2削減に大きな効果が期待できます。

■水道事業のあり方検討委員会／12月4日／市役所議会議棟

加西市水道事業の経営基盤確立のために標記の委員会を設立し、第1回目の委員会を開催。市の水道事業は、現在は比較的健全な状況にあるものの、将来的な事業性については検討が必要となっています。施設の老朽化、人口減少、使用量の伸び悩みの中で、今後の水道事業におけるあり方を議論し、民間活用による一層の事業効率化を検討。委員は眞柄泰基（トキワ松学園理事長）、中北徹（東洋大）、福島徹（兵庫県立大）と市生活環境部長の計4名です。



自治体公民連携研究会にて。右から二人目がオリバー・ポーター氏



地方自治体公民連携研究会で、市議会と情報共有



8月8日に開催した第2回加西市事業仕分け



構想日本「J.Iフォーラム」



バイオ燃料の産学官共同実験調印式

自治参画

問合せ／自治参画課 ☎ 8751

トピックス

■全国男女共同参画宣言都市サミット in のべおか

／11月6日／宮崎県

加西市は昨年、男女共同参画宣言都市記念式典を開催。このたびのサミットでは、中川市長が、男女共同参画宣言都市首長として加西市の事例を発表しました。

■かさいパープルリボン2009／12月6日／アステシアかさい

DV防止法に基づき、暴力や虐待の根絶を訴える啓発運動の先駆けとして、市民や近隣の自治体にも呼び掛け開催。市民自らの意識改革につながることを期待しています。

取り組み

■地域交流センターなどの統合に向けて

参画意識・自治意識の高い市民を育てるとともに、利用者の利便性の向上のため、市内4公民館やアステシアかさいの地域交流センター、図書館などを市長部局へ移管し、機能統合に向けて、経営戦略室と自治参画課を中心にクロスロード会議を開催しています。

■地域オフィスの取り組み

まちおこし支援の窓口として設置。地域の実情把握と支援のため地域の行事に積極的に参加しています。

■多文化共生社会の構築

加西市の人口5万人のうち約1,000人（2%）は外国人で、現在25か国の方が暮らしています。イベントの開催だけでなく、市内外国人が日常生活に支障を来さないよう生活支援に重点を置いた活動をしています。

■ファミリーサポートの活動

市民の子育てサポート活動を応援し、男女共同参画の推進につなげています。

行事

■自主防災総合訓練／9月6日／宇仁小学校

大規模な災害が発生した場合、自主防災組織による自主的、組織的な防災活動が極めて大きな役割を果たします。市と学校区域の自主防災組織が主催し、警察、自衛隊、消防団などと連携した総合訓練を実施しました。

■雑魚取り大会で携帯浄水装置のデモ／10月24日／大工町東池

加西市は災害時や非常時に、ため池や河川の水を浄化する携帯型非常時浄水装置の購入を前に市民PRも兼ねて、ため池の雑魚採りイベントに合わせてデモンストレーションを実施。

■安全・安心のまちづくり市民大会／11月26日／健康福祉会館

区長会、生活安全推進連絡協議会、連合婦人会、老人クラブ連合会、防犯協会などの協力を得て市民大会を開催。市民大会以外にも、警察や交通安全協会とともに、各小学校で交通安全教室を開くなどしています。

■まち研明石20周年のつどい／11月29日／明石

市民主体のまちづくりを掲げて活動する明石まちづくり研究会が主催したシンポジウムに、中川市長や井戸知事ら5人の首長が参加、市民主体のまちづくりと行政の役割について討論しました。



全国男女共同参画宣言都市サミット in のべおか



かさいパープルリボン2009「声をあげよう！暴力にNO」



地域オフィスで地域の行事に積極参加



市内在住外国人の子供たちへの教育支援



まち研明石20周年のつどい